sysmex

株主の皆様とシスメックスをつなぐコミュニケーション誌

BeFine!

第50期 | 第2四半期株主通信
2016年4月1日～2016年9月30日
証券コード 6869

シリーズ｜フロントランナー 3 …… 5ページ

検査の価値向上を目指す学術活動の推進

グアナファトの街並み（メキシコ）

シスメックス株式会社

➤➤ 詳細な財務情報は、シスメックスのIRウェブサイトをご覧ください。 www.sysmex.co.jp/ir/

円高の影響などにより、売上・営業利益ともに前年同期を下回りました。

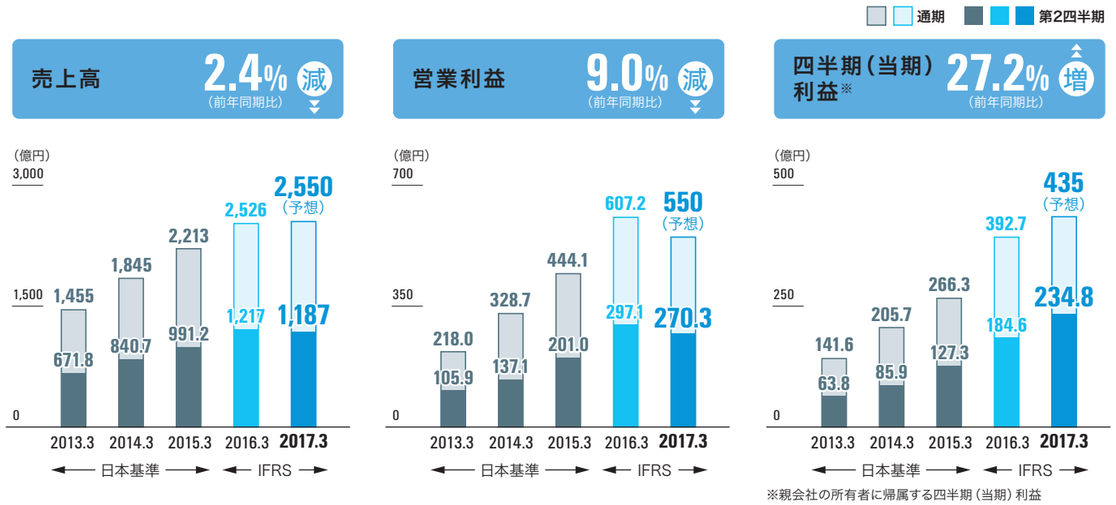
※当社グループは2017年3月期より国際会計基準（IFRS）を任意適用しています。これに伴い、2016年3月期の数値についてもIFRSに準拠して表示しています。

IFRS

第50期 第2四半期のポイント

ポイント1 現地通貨ベースでは全所在地で増収となるも円高の影響などにより減収

ポイント2 四半期利益*は日独租税協定改正の影響もあり増益



※親会社の所有者に帰属する四半期（当期）利益

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社グループの2017年3月期 第2四半期の業績は、現地通貨ベースでは全ての所在地で増収となったものの、円高の影響を受け減収となりました。また、円高の影響や原価率の悪化などにより、営業利益では減益となりました。売上高は前年同期比2.4%減、営業利益は同9.0%減、四半期利益*は日独租税協定改正の影響などもあり同27.2%増となりました。なお、前年同期の為替レートを適用した場合、売上高は前年同期比11.5%増、営業利益は同3.8%増となります。

国内は、ヘマトロジー分野*に加え、血液凝固検査分野や免疫検査分野も伸長し、増収となりました。海外は、販売・サービス体制の強化や、ソリューション提案を進めた結果、機器の設置台数の増加とともに試薬の売上も伸長し、現地通貨ベースでは概ね順調に推移しました。これらの結果、当社グループの海外売上高比率は82.3%となりました。

なお、2017年3月期通期の連結業績予想につきましては、為替レートが想定より円高に推移している状況を踏まえ、期初為替レートを見直し、売上高は前年同期比0.9%増、営業利益は同9.4%減、四半期利益*は10.7%増の見込みです。

配当につきましては、年初予想（中間27円・期末27円）に対し、2円増配し、年間では56円（中間28円・期末28円）を予定しております。今後も継続的な安定配当を目指してまいります。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

■2017年3月期通期業績予想 （億円）

	売上高	営業利益	当期利益※
2016年11月発表	2,550	550	435
2016年5月発表	2,750	620	405
【参考】2016年3月期実績（IFRS）	2,526	607	392

■想定為替レート（円）

1USドル	1ユーロ
104.1	115.6
110.0	125.0
120.1	132.6

※親会社の所有者に帰属する当期利益

代表取締役会長兼社長

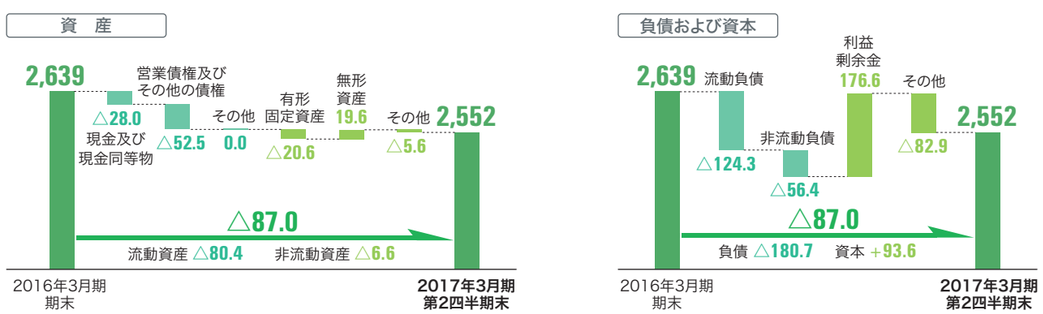
家次 恒

いえつぐ ひさし

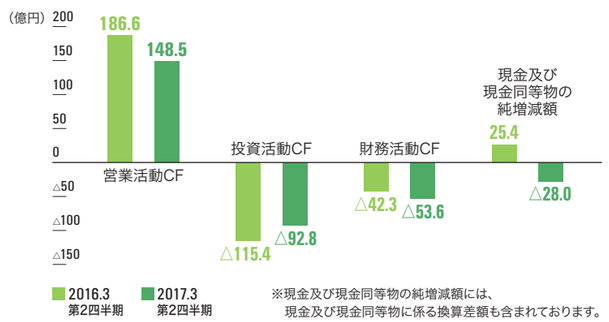
【出身地】大阪【略 歴】大学を卒業後、銀行に13年間勤務。その後、東亞医用電子株式会社（現シスメックス株式会社）に入社。1996年に代表取締役社長、2013年に現職に就任。

【趣 味】読書、スポーツ観戦【信 条】「意あらば通ず」

●財政状態計算書の増減要因 （億円）

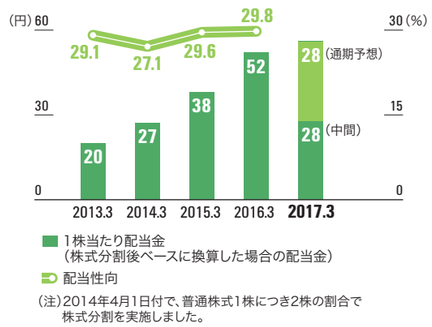


●キャッシュ・フローの推移



※現金及び現金同等物の純増減額には、現金及び現金同等物に係る換算差額も含まれております。

●1株当たり配当金／配当性向



（注）2014年4月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しました。

※本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

*四半期利益：親会社の所有者に帰属する四半期利益。

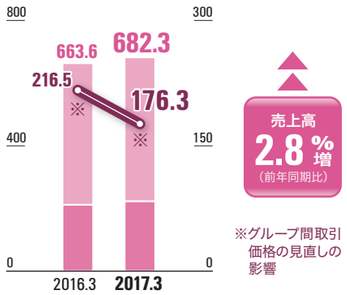
*ヘマトロジー分野：血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

所在地別セグメント

〈為替レート（期中平均）〉 （円）

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期
1USドル	121.8	105.3
1ユーロ	135.1	118.2

日本

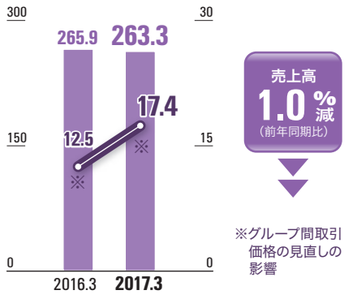


■内部売上高：関係会社への輸出など
■外部売上高：日本のほかに、IDEXX社向けなどの売上を含む。

1 日本国内の売上が伸長したほか、理研ジェネシスの子会社化の影響もあり、増収となりました。

2 コスト削減を実施するも、グループ間取引価格の見直しや、円高の影響などにより、減益となりました。

米州

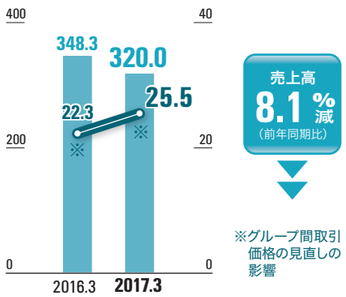


現地通貨ベース（前年同期比） 売上高 14.6%増 営業利益 60.0%増

1 ヘマトロジー分野*が好調に推移し、現地通貨ベースでは二桁増収となるも、円高の影響により、円ベースでは微減となりました。

2 増収効果などにより、増益となりました。

EMEA*

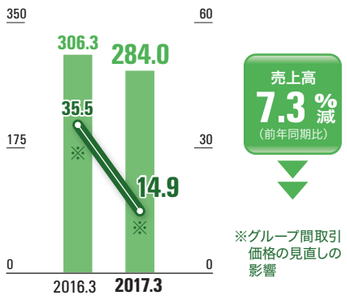


現地通貨ベース（前年同期比） 売上高 5.1%増 営業利益 31.2%増

1 現地通貨ベースでは増収となるも、円高の影響により、円ベースでは減収となりました。

2 グループ間取引価格の見直しの影響や販売管理費の抑制などにより、増益となりました。

中国

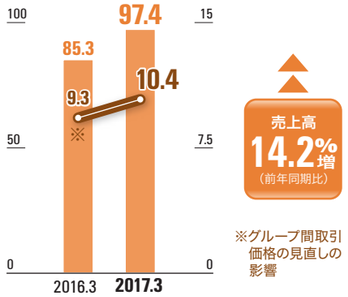


現地通貨ベース（前年同期比） 売上高 13.1%増 営業利益 48.5%減

1 現地通貨ベースでは増収となるも、円高の影響により、円ベースでは減収となりました。

2 対ドル人民元安の影響で、日本からの仕入価格が上昇したことにより、大幅な減益となりました。

アジア・パシフィック



※アジア・パシフィックについては、2014年3月期より円貨のみの開示としています。

1 一部の地域で円高の影響はあるものの、大型案件を獲得したオーストラリアを中心に売上が伸長し、二桁増収となりました。

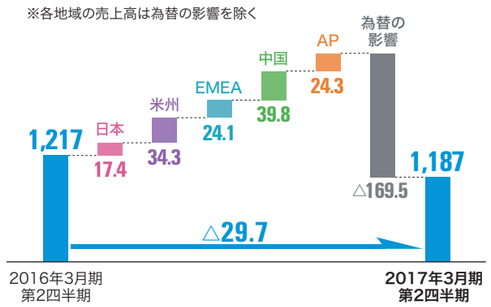
2 増収効果や販売管理費の抑制が寄与し、二桁増益となりました。

（注）日本からモンゴルなどへの直接販売は、日本の外部売上高に含む。

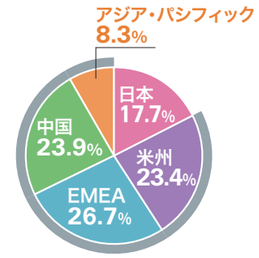
地域別・事業別セグメント

●地域別売上高の増減要因 （億円）

※各地域の売上高は為替の影響を除く

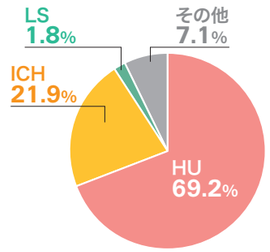


●地域別売上高構成比



海外82.3%

●事業別売上高構成比



HU…Hematology（ヘマトロジー）
Urinalysis（尿）
ICH…Immunochemistry（免疫）
Clinical chemistry（生化学）
Hemostasis（血液凝固）
LS…Life Science（ライフサイエンス）

グローバル レポート

中南米におけるビジネス拡大への取り組み

シスメックス ブラジルの従業員

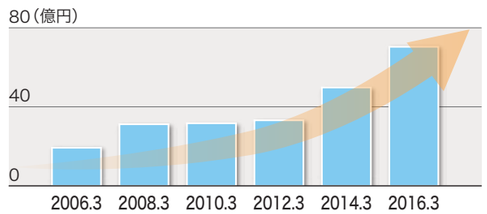
リオデジャネイロオリンピックの開催国として注目を集めたブラジルをはじめ、中南米には30カ国以上の国々が存在します。いまや中南米の人口は6億人を超え、中長期的にはさらなる経済成長が見込まれています。

シスメックスは、1998年にブラジルに現地法人を設立し、ブラジルをはじめとした中南米諸国に、主に現地の代理店を通じて製品やサービスをお届けしてきました。国によって経済状況や医療環境は異なるものの、主力のヘマトロジー分野を中心に、売上を伸ばし続けています。

2014年以降はコロンビア、メキシコ、チリにも現地法人を設立し、中南米のビジネス拡大を進めてきました。今後はアルゼンチンにも現地法人を設立し、コロンビア、メキシコ、チリと同様に代理店へのサポートをさらに強化するとともに、現地のお客様のニーズにあった製品・サービスをお届けし、シスメックスのさらなる価値向上を目指します。

今後も新興国における販売・サービス体制の整備や、当社ならではのサービス＆サポートを提供し、医療の発展に貢献していきます。

●中南米地域における売上高の推移



*EMEA：欧州、中東、アフリカ地域。

*ヘマトロジー分野：血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

※当社グループは2017年3月期より国際会計基準（IFRS）を任意適用しています。これに伴い、2016年3月期の数値についてもIFRSに準拠して表示しています。

検査の価値向上を目指す学術活動の推進

製品を提供するだけでなく、正確な検査結果をお届けするため、シスメックスは創立時から、製品の性能や仕様を紹介する資料の提供や、最新の医学情報を提供する学術セミナーの開催に努めてきました。お客様に「安心」と「信頼」をお届けする、当社ならではの学術活動についてご紹介します。

❶当社が提供している学術誌や冊子などを多数展示している学術資料室。❷海外の現地法人でも、社内での勉強会や顧客へのセミナーを開催するなど、学術活動が活発に行われています。❸製品を使って実験や研究を行うための学術実験室。❹製品の価値を高めるために、データを活用して学術研究活動を行っています。

今回訪問したのは…

シスメックスのサービス&サポート拠点
「ソリューションセンター」
(兵庫県神戸市)

医療現場の多様な課題を解決するため、2005年にサービス&サポート、ロジスティクス(物流)などのソリューション(課題解決)機能を集約して開設。お客様を総合的にサポートしています。

お客様に役立つ情報を発信し、グローバルに価値を提供しています。

学術推進部
学術サポート
統括課 課長
天野(あまの) 千夏(ちなつ)

創立当初から受け継がれる医療に携わる企業としての責任

当社が創立当初から学術活動に取り組んできたのは、お客様に製品の性能や仕様を正しくご理解いただくことで、より正確な検査結果をお届けするためです。単に製品を売るだけではなく、検査結果に責任を持つため、創立時から試薬も自社で開発してきました。また、検査の質の向上を通じて医療の発展に貢献したいとの思いから、学術活動を含むサービス&サポートを提供し、お客様に「安心」と「信頼」をお届けしてきました。

一方で、「検査の精度向上」のみならず、「検査の価値を高める」ことにも取り組んでいます。現在学術本部は、学術研究部と学術推進部の2つの部で構成されていますが、製品ごとのサポートなどを担う学術研究部では、製品を他の疾患の診断に応用できないか調べたり、製品の性能を確かめたりする研究活動も行っています。そしてその成果を広め、理解していただくための学術広報活動を担うのが学術推進部です。このように2つの部が連携し、学術活動をグローバルに推進しています。

最先端の情報提供を通じて国内外の医療の発展に貢献

私が所属する学術推進部の活動のひとつに、1978年から毎年開催している「学術セミナー」があります。「学術セミナー」は医療関係者の方々を対象に、臨床検査に関わる最新の医学情報を提供することを目的に開催しており、製品のPRを目的とするものではありません。来年で40周年を迎えますが、一企業がこれほど長期間にわたって継続しているセミナーは、他に例がないと思います。当社の事業領域の拡大に伴い、近年では免疫検査分野やライフサイエンス分野など、より幅広いテーマを取り上げるようになり、専門的でレベルの高いセミナーとして、参加者の方々から高い評価をいただいています。

また、国内のみならず、世界各地でセミナーやシンポジウムを開催しています。特に、中国をはじめとするアジアの新興国では、当社にしかできない医療貢献の一環として学術セミナーが大きな役割を果たすとともに、現地におけるブランド力の向上にもつながっています。

一方で、学術情報や資料の提供活動も、当社が創立時から続けている活動のひとつです。医療関係者の方々を対象とした資料を中心に、医師の先生方が患者さんに検査の重要性を伝えるのに役立つ冊子なども多く制作しています。

今後は海外のお客様のニーズも積極的にくみとり、情報やノウハウを共有することで、学術活動をさらにグローバルに展開していきたいと考えています。

POINT 1

医療への貢献を目的とする「シスメックス学術セミナー」

1978年より毎年、先進のテーマを選りすぐり、各分野で著名な先生方にご講演いただいています。神戸、東京を主会場に、多い時は10会場を衛星回線でつなぎ、1,000名を超える方々にご参加いただいています。現在は、海外でも積極的に当社グループ主催のセミナーを開催しています。

2016年4月に開催したトルコでの学術セミナー

POINT 2

多種多様な学術情報や資料を提供

各分野の第一人者の方や、当社との共同研究先の先生方に執筆をお願いし、検査に携わる方向けの専門学術資料と、一般の方を対象とした読み物を発行しています。これらの資料は日本語・英語・中国語を基本として、お客様からのニーズにあわせて、多いものでは18カ国語に翻訳し、世界各地の医療機関に提供しています。

医療関係者向けおよび一般向けにさまざまな学術資料を提供

株主様会社見学会のご案内

株主の皆様に当社へのご理解をより一層深めていただけるよう、今年度も会社見学会を開催いたします。株主様からのご要望にお応えし、募集人数を増やしたことでより多くの株主様にご見学いただけるようになりました。ぜひご応募ください。

見学場所：機器生産拠点「アイ スクエア」
（所在地：兵庫県加古川市）

開催日時：2017年3月17日（金）
午前の部：　9:40（集合）／12:40頃（解散）
午後の部：14:00（集合）／17:00頃（解散）

対象者：2016年9月30日現在、
当社株式100株以上をご所有の株主様

集合・解散場所：JR加古川駅 近辺（予定）

参加費：無料

※詳細は、ご招待状にて連絡させていただきます。
※集合・解散場所までの往復交通費、宿泊費等は株主様のご負担とさせていただきます。
※ご見学に1時間30分ほどお歩きいただきますので、ご了承ください。

応募要領

◆募集人数…160名（午前の部・午後の部 各80名）
※株主様ご本人からのご応募でない場合、ご応募は無効とさせていただきます。
※同伴者とのご見学をご希望の場合は、参加申込書にて事前にお知らせください（同伴者は1名のみ。小学生以上）。当日のお申込は受付いたしかねます。
※株主様お1人につき、1枚のご応募とさせていただきます。
※応募人数が多数の場合は、抽選とさせていただきます。
抽選の結果は、2017年2月中旬に応募者全員に郵送にてお知らせいたします。

◆応募方法…参加をご希望の株主様は、同封の参加申込書に必要事項をご記入の上、ご送付ください。
※単元未満の株式（100株未満）をご所有の株主様には、参加申込書を同封しておりませんのでご了承ください。

◆応募締切日…2016年12月30日（金）必着
※ご応募により当社が取得する株主様の個人情報につきましては、本会社見学会を実施する上で必要な限りにおいてのみ使用いたします。

【お問合せ先】　シスメックス株式会社　IR・広報部 会社見学会係　Tel 078-265-0515　受付時間：10:00～17:00（土・日・祝祭日、その他会社の休業日を除く）

会社概要

（2016年9月30日現在）

■商号　シスメックス株式会社
SYSMEX CORPORATION
■設立年月日　1968年2月20日
■資本金　113億7,478万円
■格付け　A+　（R&I：格付投資情報センター）
■従業員数　7,773名（連結）2,585名（単独）
＊嘱託・パートタイマーなどを含む
■主な事業内容　臨床検査機器、検査用試薬ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入

株主メモ

■事業年度　毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会　6月
■基準日
定時株主総会　3月31日
期末配当金　3月31日
中間配当金　9月30日
その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

■公告方法
当会社の公告方法は、電子公告とします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
電子公告掲載ホームページアドレス　www.sysmex.co.jp/ir/

■上場証券取引所　東京証券取引所市場第一部
■証券コード　6869
■単元株式数　100株
■株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

■同連絡先（郵便物送付先・電話照会先）
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話　0120-094-777（通話料無料）

お知らせ
1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。　2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。　3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

シスメックス株式会社
神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 〒651-0073　Tel 078-265-0500　Fax 078-265-0524　www.sysmex.co.jp

再生紙、植物油インキを使用しています。